

eco's 通信

2009
3月
vol.190

第17回出雲養護学校高等部 作品展、即売会 「is you (イズ ユウ)」



多数の商品を品定めする、河上部長
(写真左)と案内役の藤原くん

「いらっしやいませー!」
「ありがとうございます!」

2月20日から21日、出雲ショッピングセンター・パラオで開催され、私たちもたずねてみました。「is you (イズユウ)」の名前の由来は、出雲養護学校の略称「いずよう」と、自立を目指している生徒たちを理解し、温かく見守ってほしい人「それはあなたです」という願いを重ねて表現したものです。

高等部では、授業の一環で作業学習に取り組んでいます。それは、窯業、木工、縫製、紙すき、調理、農業、総合作業です。その成果発表として、毎年「is you」に向け、いろいろな製品をつくり、地域の方に買っていただくのです。生徒自身がお客様の対応をしたり、代金をもらって領収書を出したり、お釣をあげたりもして、来場者とのやりとりを体験します。

お客様からの商品の質問や相談にも丁寧に対応してくれました。陶芸品など壊れやすいものは、古新聞紙で丁寧に包んでくれました。クッキーやケーキなどの人気商品は、昼過ぎには売り切れるほど盛況でした。生徒さんが一所懸命に働き、社会参加しようとする姿に、私は元気をもらいました。

この行事は、毎年開催されるもので、毎年楽しみにしている地域の方も多いということです。

「いらっしやいませ」 「ありがとうございます」
…元気な声が催し場いっぱいに響き渡ります。

この元気な声を支える人「is you (イズユウ)」、「それはあなた」です。(長野)



繁盛店訪問

株式会社
くるま・ナガハラ 様

〒680-0942 鳥取県鳥取市湖山町東3丁目41
TEL 0857-28-6801
FAX 0857-28-5519



お兄ちゃん社長が、親身になって、車選びをしてくれます。永原社長の笑顔が周囲を明るく元気にしてくれます。

お母さん社長からお兄ちゃん社長へ

昨年、先代の社長であったお母様が亡くなられ、某カーディーラーのサービス課長として勤務されていた長男である永原氏が、その跡を継いで社長に就任されました。ご自身は長男なので、いつかは継ごうとお考えだったそうで、また、周囲の方々も長男が帰られ、跡を継ぐという期待もあったようです。笑顔で元気いっぱいの社長は、社員から慕われ、「お兄ちゃん」と親しみをこめて呼ばれています。

先代社長のお母様は、当初、車に関してはあまり知識はなく、一所懸命に勉強されました。物腰柔らかく、わかりやすい言葉で丁寧に女性のお客様に説明し、話しやすいと好評だったそうです。多彩な趣味の会の人脈を生かし、自動車関係の話だけでなく、趣味の話やお客様の人生相談などにも親身になって話を聞いてあげ、近所から慕われる存在でした。先代社長からのお客様で、「よく姑の愚痴をきいてもらった」と懐かしんで、来店されるかたもおられます。

社名変更

お兄ちゃん社長は、これまでの会社のイメージチェンジをはかりたいと、社名変更に取り組みました。永原のブランドは大事にしつつ、「ナガハラ」と今風にカタカナにしました。サービス課長時代に学んだ営業活動をもとに新しいお客様を開拓していくのです。



車輛整備担当の石破工場長様。いつも笑顔で、お客様の車を丁寧に仕上げてくださいます。

いつも元気いっぱい

「“笑う門に福来る”というように、元気が一番。3歩以上は駆け足、エレベーターは使わない・・・元気いっぱい。お兄ちゃんが元気だと皆も元気になります。健康に気をつけていきたい。」と、元気いっぱいの永原社長様です。

また、「車は必要なものですが、お客様が気に入られ買ってよかったといわれ、愛着をもって乗ってもらう。仕方無しに買ったのではなく、こういうのが欲しかったと、お客様が欲しい車を見つけたいと思います。」と、親身になって車選びをしていただけます。

また、専務（社長の弟さん）が板金、工場長が足回り、エンジン担当で、細かいところに目が届くアフターケアです。

「ながはらさんげ（鳥取弁で、ながはらさんち）のくるま屋さん、くるまのことなら何でもOK! 」と、お兄ちゃん社長から、たくさんの元気をいただきました。（長野）

お兄ちゃん元気！
ながはらさんげのクルマ屋さん



事務所内には、お兄ちゃん社長の趣味のものがたくさんあります。熱帯魚が泳ぐのを見てると、心いやされます。

営業時間：4～9月 8:30～17:00

10～3月 9:00～17:30

店休日：第二・四土曜、日曜、祭日

業務内容：車販売（外車含む）、車点検整備、自動車保険、その他車のことなら何でも

スタッフ：4名

課長研修会

「強い部門、強い会社をつくる」

とき：平成21年2月27日

もと外資系企業において人事、教育等に携わっておられた有友様を講師にお迎えし課長研修会を行いました。

平成19年9月に組織が変更され、木村、岸本、福岡3課長が任命され、1年4ヶ月経ちました。この変更によって、責任の所在がより明らかになりました。

この研修会の目的は、強い会社、強い部門を作ることです。その方法として、課長職としての職務の範囲や心構え、部下への指示の出し方、上司への報告の仕方等を勉強し、今後更に組織運営を円滑にしていけるのです。

この研修会で強く心に残ったことは、「自立と共生...自立なき共生は寄生であり、共生なき自立は孤独なり」です。これは、自らが強く思い行動し、お互い人格を尊重し、認め合い、協調していくことです。

それぞれの部署で、課長がリーダーシップをとり、チームワークがとれてきていると感じます。（長野）

有友先生の話（抜粋）

管理職の役割は、

1.プレイヤーとして

自らが目標、計画をたて、まわりを巻き込みながら業績をあげる。

2.マネジャーとして

自らが目標、計画を立て、部下が計画に沿って業績を上げるよう指導、支援する。



3.リーダーとして

事業のビジョン、指針を示し、モチベーションを高め戦略的に組織全体の業績を上げて長期的な成長を促す

参加者の言葉

- ・同じ仕事で、同じ品質を要求している状態で、ベテランと初心者を区別する場合のステップアップモデルを教えてくださいました。今後職場での教育に役立たせます。（木村憲）
- ・今後工事部において、成功しているチーム10の特徴をもとに成果とモチベーションを上げる。（岸本）
- ・部員同士でコミュニケーションをとる。会議等で自分の意見を出させ、皆の前で発言するクセをつける。1日1回は全員と連絡を取り、とにかく話す。（福岡）

* 成功しているチーム10の特徴

- 1.共通のビジョン、ゴールに向かって励んでいる
- 2.明確で、柔軟な役割をもっている
- 3.多様性に価値をおき、一人一人の強みを活かしている 等

今月の改善 その1

～ 治具台を作りました～

再生燃料油の品質と生産を安定させるため、二つめの遠心分離機（2号機）が導入されました。それに伴い、治具台を作製しました。1号機と2号機は治具が違うので、混在しないように分別します。

1号機用治具台と違うところは、キャスターをつけなかったところです。それは、次の2点です。

作業時、台を動かすことはなく、キャスターは有効でなかった。

振動等でキャスターが動く恐れがある。ストッパーがあるが、振動等で外れることがあるかもしれない。

1号機と2号機の治具をきちんと分別し、作業の能率を向上させ、安全に作業を行っていきます。（伊達山）

改善をすることで、自分自身がより安全により正確によりスピーディーに作業できることがわかってきました。同じ治具台を作る場合にも同じ物を作らず、改善がされています。前回よりも、大きさや使い勝手が良くなっています。（木村憲）



今月の改善 その2

～ 構内安全のためタンクローリー

常置場所の変更～

松江営業所の人員が増え、それに伴い車両の台数も増加しました。タンクローリーの常置場所を変更し、安全な駐車スペースを確保しました。その駐車スペースには蓋のない側溝があり、その上を車両が通る可能性があります。車両が乗っても安全な蓋を設置し、出入りが楽にできるようになりました。また、構内の隅の空いた土地が有効利用できました。（岡田）

常置場所の変更により大型車両の回転スペースが確保でき、より安全に方向転換できるようになりました。空いたスペースが有効利用ができて、よかったです。（岸本）



写真中の右下の白い溝蓋です。

一斉清掃の実施

先月、積雪のため、会社周辺のごみ拾いができませんでした。その分、しっかり拾いました。タバコの吸殻の多いこと。改めてマナーの悪さを感じました。今回の一斉清掃では、構内のコンクリート殻を取り除きました。構内での車走行、草刈等で邪魔になるし、危険だからです。あるわ！あるわ！泥に埋もれているU字溝などもあり、掘り出すのにたいへんでした。おおまか取り除くことが出来、春になって、草刈等の作業がスムーズに行くことと思えます。



（長野）

『君に成功を贈る』を読んで

2月の指定図書



「悲しいことや辛いことがあったら、いつにもまして、わらってごらん。悲しいこと、辛いことのほうが逃げていくから」

現在のような状況で、「笑っていられるか！」と思うかもしれないが、悲しんでいても何も進まない。こんな状況のときこそ、笑って生きていこう。笑っているうちに何かいいことがあるだろう。それがチャンスとなり、成功の鍵となるかもしれない。笑うことは、自分の気持ちも明るくなる。また、周りの人たちも幸せを感じてもらえるだろう。どんなときでも笑うことは、必要なことです。

会社内も、笑いのある会社であってほしい。笑顔のある会社は、必ず成功すると私は信じています。（吾郷）

今月の安全講習

～もしも自動車事故を起こしたら～

仕事や日常生活で、ほとんど毎日とっていいほど車を運転しています。安全運転に心掛けていても、事故はいつ起こるかわかりません。もし、万が一、事故を起こした場合、どうしたらいいのでしょうか。

けが人の救護

負傷者の確認をする。

応急処置をする。

救急車の手配をする。

二次災害の防止

事故車を安全な場所へ移動する。

後続車に対しても充分な配慮を払う。

警察へ連絡する

軽い事故でも必ず警察へ連絡する。

事故発生の日時、場所、事故の程度、自分がとった措置などを知らせる。

事故の記録

事故状況：日時、場所、道路状況、届出警察、信号、相手のスピード、車の位置関係など

相手情報：氏名、住所、電話、勤務先、車名、損傷箇所、修理先、病院など。

事故の連絡

保険代理又は保険会社へ連絡する。

《受講者の感想》

毎日業務で社有車を運転します。その車は危険物車輛であるので、そのことをよく認識し、運転マナー良く、スピードを控えて運転していきます。事故は起こしません。（福岡）

皆が毎日、安全運転、安全作業が出来るよう、出発時には声掛けしていきます。（長野）

元気の出る言葉

中村天風師

人間は、怒ったり争ったりするために生まれてきたんじゃない

（『君に成功を贈る』より、日本経営合理化協会刊）

人の命は決して長いものではありません。また、人生は一回限りのものです。ですから、人の一生は極めて貴重なものです。この貴重な人生を、本当に幸福を感じて生きていくために笑いを忘れてはなりません。笑いが万物に幸をもたらすことでしょう。（長野）



蠟細工のような、梅に似た花から「蠟梅」（ろうばい）の名になったそうです。

「成功」と「失敗」の法則

稲盛和夫著 致知出版社



《 真のリーダーとは、人生において、ひたむきに仕事に打ち込み、その中で人格を高め続けるような人物ではないでしょうか。 P111 》

最近、「心に吹く風」という本に出会い、著者である、一緒に京セラを立ち上げられた伊藤謙介さん(現相談役)の生き方、考え方に接した時、それらが稲盛さんから学ばれたそのものであることに驚きました。

さらに友人の薦めで、稲盛さんが興された、若手経営者のための経営塾「盛和塾」に参加した時にも、同じようなショックを感じました。会員の皆さんの口から出てくる、会社経営についての考え方が、稲盛さんから学んだ理念、考え方が浸透して、生き生きしていたのです。

会社が成長発展するためには、まずトップの理念、考えが社内全員に浸透していること。ついで社員は、それを自分のものとし、全社員力を合わせて目標を達成することが、必要です。

つつい現状に満足しがちな私に、いつまでも学ぶ姿勢を持ち続け、それを実践し続けることの大切さを、教えてくれる本です。

追記：前述の伊藤さんの「心に吹く風」は会社の蔵書にあります。ぜひ読んでください。著者は、経営ばかりでなく、文学にも奥の深いものを持たれた名著です。素晴らしい経営者です。(山根)

蔵書新着情報

- ・「長門守の陰謀」 藤沢周平 文春文庫
 - ・「天保悪党伝」 藤沢周平 角川文庫
 - ・「又蔵の火」 藤沢周平 文藝春秋
 - ・「たそがれ清兵衛」 藤沢周平 新潮文庫
 - ・「地球が制止する日」 デヴィット・スカム デイアクトリ- 新潮文庫
 - ・「散るぞ悲しき」 梯久美子 新潮文庫
 - ・「ダ・ヴィンチ・コード」上,中,下 ダン・ブラウン 角川文庫
- 上記9冊を山陰建設工業株式会社井上様より寄贈
- ・「おむすびの祈り」 佐藤初女 集英社
- 日本経営合理化協会 作間信司様より寄贈
- ・「島根の弁護士 11,12,13」 香川まさひと 集英社
 - ・「心が加えること HAPPY NEWS 2007」 (社)日本新聞協会編 文藝春秋
 - ・「成功」と「失敗」の法則 稲盛和夫 致知出版社



お客様からの投稿

「梅一輪 一輪ごとの 温暖化」

年々温暖化が進み、梅の開花も着実に早くなっています。今年2月第一週に咲き始めました。春がきた喜びより、温暖化がきた恐ろしさを感じます。

東村山市 星野王子さま

発行日：毎月10日

発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20

TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野

E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

原稿を公募します

本誌の原稿を公募します。800字～1000字程度で、身近な出来事をテーマにしたものを希望します(例えば、感動したこと、うれしかったこと、旅の思い出、おいしいお店など)。随時受け付けます。内容により不採用の場合はお許しください。編集部あて、どんどんお寄せ下さい。薄謝を差し上げます。

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名様に賞品を差し上げます。今月の賞品は、島根県立美術館開館記念展入場券(ペア)です。締切は3月末です。奮ってご応募ください。

Q：島根県立美術館は、開館 年を記念し、3月6日から5月31日まで「フランス絵画の十九世紀」が開催されています。 に入る数字を答えてください。

先月号の答えは「台湾」でした。

抽選の結果、鳥取市本城様が当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

編集後記

漁獲高日本一を誇る宍道湖のシジミを全国にアピールする「宍道湖しじみ館」が1月末、松江市千鳥町にオープンしました。松江しんじ湖温泉街の松江名産センターを改装して整備されました。松江市は、シジミの漁獲量が全国の約四割を占める特産地でありながら、これまで全国に発信するPR拠点がなかったのです。展示館では、ビデオやパネルで宍道湖のヤマトシジミの生態や漁の方法、おいしい食べ方を紹介しています。喫茶コーナーでは、シジミを使ったハンバーガーやカレーも楽しめます。朝のNHKテレビ小説「だんだん」で、宍道湖のシジミは一躍有名になりました。宍道湖のシジミ汁の味は格別です。わたしも県外のお客様に、宍道湖のシジミをPRしていこうと思います。(長野)